

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.99

配信日：2025年12月22日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

北信ローカル 記事紹介 “国語のない国”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事を紹介させて頂きます。

記事の内容につきましては、別紙※の通りでございます。

※ 別紙 出展元：「北信ローカル」 2025年(令和7年)12月19日 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただいております(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけすると幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合もございます。予めご了承願います。

〒114-0002 東京都北区王子2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: info@tpdimplant.com

TEL:03-3919-5111／FAX:03-3919-5114

国語のない国

投稿

信州口腔外科インプラントセンター所長

紙幣に見る多様性の国

インドの言語事情

14億人超えの人「どなた」
たインドには、1994～5
年の間に学術交流（学会参
加・講演）で行く機会が増
えている。

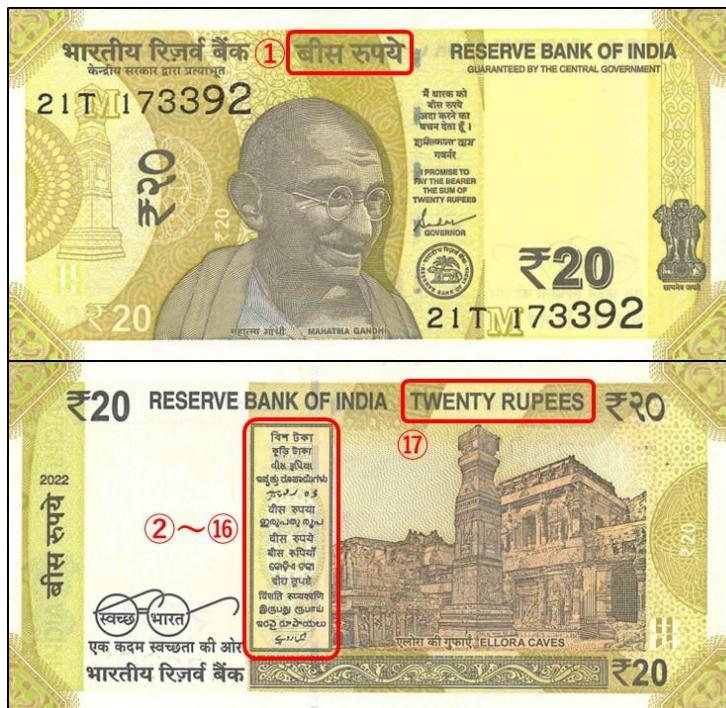
旅行の楽しみは、何とい
つても会話を介した人との
交流が一番であるが、その
国の紙幣やコインのデザイ
ンとの出会いも私にとって
は楽しみの一つである。

つては断定しかたい側面もある。収入の良い仕事につくには、英語を「話せる」ことは必須となつてきているようだ。英語を学ぶために語学学校に通学する人も増加していると聞く。一方、日本人について見てみると、いろん

筋感覚でも東南アジアを始めとする日本の周辺諸国で英語を話せる人が一昔前とは大きく異なり、その人口は確実に、しかも急速に増加していることを感じる。

グローバルというカタカ

の向上は必須である。
坂道を転げ落ちつつある
日本をトップさせるには、文科省も英会話に軸足
を移した英語教育に今直ぐ
にでも移していくないと手
遅れになるであろう。



新ガンジーシリーズの紙幣 20ルピー

17種類の言語で“20ルピー”と記載され、①が公用語であるヒンディー語で表面に、そして準公用語の英語を始め15種類の民族の言語で“20ルピー”と書かれていることからも、この国の多様性が見て取れる。

ナ英語だけは一人歩きして
ポピュラーな言葉となつて
いる日本だが、英語教育の
目的は受験に置かれている
ことは明白である。